

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

11月13日 金曜日

2020年(令和2年)

エイディーデー

## ワクチン輸送フリーザー

### 超低温を長時間維持

ウズ  
コロナ

【静岡】エーエイディーデー(静岡県沼津市、下田一喜社長、Cを実現したワクチンフリーザーを開発し)

055・943・63

71)は、約120度フリーザーを発売し

Cを實現したワクチン輸送・保管専用超低温フリーザーを開発し

た。小型化したことで、航空機や車載での輸送、個人病院での保存など広く使用できる。1台でワクチン1000本が収容可能。

酸)を使った新型のワクチンは約70〜約80度C程度での保存が必要という課題が浮上している。

同フリーザーは超低温保冷剤とセットで価格250万円(消費税抜き)。まずワクチンの輸送用で普及を図り、

【静岡】エーエイディーデー(静岡県沼津市、下田一喜社長、Cを実現したワクチンフリーザーを開発し)

将来はiPS細胞(人工多能性幹細胞)輸送への応用も探る。月販200台が目標。販売やメンテナンスを行う

新会社「アドトランスポート」(沼津市)を30日に設立し12月1日に営業開始する。

数のフロンを使用し、熱交換器内部で液化と気化を繰り返す多段蒸発を応用。約100度Cを維持する超低温保冷剤を組み合わせた。電源を喪失しても約80度C以下を26時間以上保持できる。

新型コロナワクチンでは米ファイザーが治験での高い有効性を発表した。ただメッセンジャーRNA(リボ核

酸)を使った新型のワクチンは約70〜約80度C程度での保存が必要という課題が浮上している。

同フリーザーは超低温保冷剤とセットで価格250万円(消費税抜き)。まずワクチンの輸送用で普及を図り、

将来はiPS細胞(人工多能性幹細胞)輸送への応用も探る。月販200台が目標。販売やメンテナンスを行う